



先日、演出家くすのき燕氏の指導の下、新作『森と夜と世界の果てへの旅』のワークショップを行いました。芝居のイメージを具体的にするためのワークショップは試行錯誤の連なりですが、これだけはすぐ解決。作品のタイトルが長いので略して「もりたび」と呼ぶことに決定！続いて今回の作品に対するメンバーの想い、演出家の考えを確認し、いよいよ実験開始。

まず、倉庫に眠っていた『オルフェ』の人形を使って、色々な「起き上がり」を試します。人間が普通するようリアルな起き上がり、逆に人間ならあり得ない現実を超えた起き上がり。起き上がった後は「歩き」です。今作品の最大ポイントと演出家が判を押した、主人公の「ひよっこ、ひよっこ」「ひよっぽこ、ひよっぽこ」という歩き…そう易々とは見つかりません。今後のメンバーの課題です。

次は、ハンドボール大のストレッチボールに胴串(持ち手ともなる操作棒)を差して、動きを試します。人間が投げるようなリアルなボールの動き、また高いところから投げ落とされたボールの動き。次にボール自身が意思を持っている動き。そして、ある場面を想定した動きに発展しました。もしかすると、原作をお読み頂ければ、「あの場面だ」と察しが付くかもしれませんね。

今回は演出家と共に具体的なイメージを喚起し、まだまだ頭を悩ます所はあるけれども、作品の面白さを体感出来た実験でした。

最後に重大な課題が与えられました。今回の作品は何より役者の体力が必要不可欠。×は皆でランニングです。デフパペラしからぬ？体育会系な稽古でした。また次回をお楽しみに \ (^文^) /



デフニュース 今月号の目次

もりたび情報

新作の現場から報告です。新しいメンバーもご紹介します。

2ヶ月に一度のこんにちわ

メンバーのコラム

今回の担当は、やなせけいこです。

日々、これ制作・・・

デフ制作メンバーのコラム

今回の担当は、木野本です。ナマの舞台に拘っています！

公演便り その1・その2

これがデフ・パペでの最後の仕事となった制作与那覇とメンバー榎本からの興奮冷めやらぬ韓国公演の報告です。

新人挨拶

制作 森井 かよ

お知らせ

デフの公演スケジュールなど

9、10月の公演スケジュールのご案内

新作から参加する新メンバー2人です。

富安優子(とみやす ゆうこ)
牧野英玄(まきの ひでのり)

人形劇は初めての2人、若さで頑張っています。
どうぞ応援よろしくお願ひいたします。



ろう者と聴者が共につくる

デフ・パペットシアター・ひとみ
DEAF PUPPET THEATER HITOMI

〒211-0035 神奈川県川崎市中原区井田3-10-31(財)現代人形劇センター

TEL: 044-777-2228

FAX: 044-777-3570

e-mail: deaf@puppet.or.jp

URL: http://deaf.puppet.or.jp/



デフ・パペットシアター
ひとみ

2ヶ月に一度のこんにちわ

デフメンバーが交代で
お便りします。

「ずっと旅人…」 by やなせけいこ

いろんな所へ旅をした。

仕事で、とはいえ、旅に出ると日常とはちがう。何が起るかわからないワクワク感のようなものでテンションが上がる。遊びでならなおさらのこと。移動の方法もいろいろで……車で、列車で、船で、飛行機で、時には自分の愛車(バイク)で、などということも……あった。(過去形)

自分ではずいぶん旅慣れたつもりでも、出発前日の支度にはまだまだ時間がかかる。この頃は殆どが車の移動のため、つい甘えて、あれもこれもと詰め込んでしまう。一度バッグに入れたものをまた出したり、入れたり……まったく何をやっているんだか……。

以前どこかで「皆さんは旅人特有の匂いがする」と言われたことがある。かっこいい言われ方だな、と素直に喜んだ。

日々制作...

制作メンバーのコラムです

「舞台を支える仕事の魅力」 by 木野本

5月からデフ・パペットの制作メンバーに加わりました。

以前は、演劇の舞台の裏方をしていました。黒い上下に身を包み、ほとんどの時間を舞台袖の暗闇で過ごしていたように思います。元々特に芝居好きでもありませんでしたが、縁あって関わるようになり、徐々にこの仕事の魅力に目覚めていきました。稽古の段階から、様々な人が関わって一つの作品を作り上げる、現場のエネルギー。時には寝食削って行う仕込みを経て、迎えた初日、客電が落ちた瞬間の緊張感。袖から送り出す演者の横顔……。好きなところは色々ありますが、最大の魅力は、舞台が常に生(ナマ)である、という点。たとえ同じ作品でも、二度と同じ舞台はありません。それ故観る者に訴える力があるのだと思います。

デフ・パペットは現在、結成30周年記念の新作を稽古中。この場に立ち会えた幸せをかみしめつつ、一人でも多くの方にナマのデフ・パペットを味わっていただくべく、制作として携わる日々です。

旅＝住む土地を離れて一時他の土地に行くこと。古くは、必ずしも遠い土地に行くことに限らず、住居を離れることを全て「たび」と言った。

一時的にその土地の人や風景や食べ物に出会う。一時的だからこそ、その時の最上の気持ちで出会いたいと思う。

先日熊本からの帰りの飛行機の窓から……陽が落ちて、真っ暗な夜になるまでの短いアオイ時間。船や建物の明かり、街灯、車のライトなどがチラチラとゆれて、富士山がアオク浮かんできて、なんとも美しかった。こんな景色を見ながらでなくても、旅の終わりは少～しさびしさに似た気持ちになる。

いい「旅人」でいたい。



報告とお礼

「人形劇をつくってみよう! やってみよう!」

場所 川崎市立聾学校

7人の小・中学生たちが参加し、6月から始まって8月の発表まで合わせて12回、デフ・パペメンバーの榎本トオル・善岡修らと一緒に、人形劇を作りました。原作は灰谷健次郎さんの「ろくべえまつてろよ」これは、子どもたちが穴に落ちた犬を助けるお話です。みんなでアイデアを出し合って、プラーカードの吹き出しを使った人形劇が出来上がりました。
本番は聾学校の夏祭り「100人のろう者に出会おう!」。観に来た友だちや家族や先生やお客さんがニコニコ楽しんでくれました。これからも継続していきたいと思えます。
ご協力頂いた、川崎市立聾学校の皆さん、保護者の皆さん、100人のろう者に出会おう!の皆さん、今回の企画に助成を頂いた(財)全国税理士共栄会文化財団の皆さん、ありがとうございました。

新人挨拶 森井 かよ

9月からデフ・パペットシアター・ひとみの制作事務を担当している森井です。今までは、子どもの美術や障がい者の美術についての勉強や、子どもの絵画教室のボランティアなどをしてきました。人形劇はまだまだ未知なので、これから魅力を発見していきたいと思っています。よろしくお願いたします。

公演スケジュール・お知らせ

「はこ/BOXES じいちゃんのオルゴール♪」

- 10月21日(木) 愛媛県宇和島市 (開演18:30) 南予文化会館
- 10月23日(土) 山口県美祿市 (開演18:00) 美祿市民会館
- 10月24日(日) 広島県三次市三和町 (開演16:45) みわ文化センター
- ☆10月30日(土) 神奈川県 横浜市立老松中学校

「稲むらの火」

- ☆ 9月27日(月) 山形県立酒田聾学校
- ☆ 9月28日(火) 福島県立聾学校会津分校
- ☆ 9月29日(水) 福島県立聾学校福島分校
- ☆ 9月30日(木) 福島県立聾学校
- 10月 2日(土) 新潟県長岡市 (開演18:00) ながおか市民防災センター・子育ての駅ぐんぐん
- ☆10月 4日(月) 新潟県立新潟聾学校
- ☆10月 5日(火) 新潟県立長岡聾学校
- ☆10月 7日(木) 富山県立高岡聴覚支援学校
- ☆10月 8日(金) 福井県立ろう学校
- ☆10月12日(火) 京都府立聾学校舞鶴分校
- ☆10月13日(水) 京都府立聾学校
- ☆10月14日(木) 石川県立ろう学校

お近くの方は、お誘いあわせの上げひご来場下さい! デフパペ事務所に お問い合わせ下さい。

「一寸法師とおたのしみ交流会」

- ☆10月31日(日) 三重県度会郡 玉城町立下外城田小学校

「ワークショップ(善岡・榎本・やなせ)」

- ☆10月18日(月)19日(火)27日(水)28日(木) 京都市立七条小学校

「音・おと・オト…OTO(善岡・やなせ)」

- ☆10月26日(火) 愛知県立豊橋聾学校

※ ☆印は、学校公演です。観劇をご希望の方は、事前にデフパペ事務所に必ずご連絡下さい。

★新作「森と夜と世界の果てへの旅」初演日程★

全労済ホール スペース・ゼロ (東京都・新宿)
(全労済文化フェスティバル2011参加)

2011年 4月 8日(金) 19:00
4月 9日(土) 14:00
4月10日(日) 14:00



デフ・パペットシアター・ひとみ 友の会 会員募集中!

観劇料の割引や友の会通信などデフパペがより身近になる特典をご用意しています。詳しくは、デフ・パペットシアター・ひとみ事務所までお問い合わせください。
年会費 : 1500円
ペア会員 : 2500円

編集後記
今年のB級グルメグランプリは大盛況でしたね。旅公演でのご当地グルメ探しが楽しみです。
(善岡 修)
今回初めて編集を担当しました。兎に角、出来上がって良かった!
(鈴木 文)

韓国・水原国際演劇フェスティバルに参加して

by 與那覇 綾子

ソウルから車で1時間半ほどの水原(スウォン)で開かれるこのフェスティバルは、今年で14回目の韓国で最大の規模を誇る国際演劇祭です。

初めてフェスティバルの案内を頂いた時、全く韓国の地理に疎い私の感想は、「水原ってどこ??」「そもそも、なんて読むの??」というレベル…。それでも、そんなことはさて置き、デフパペットにとって総合演劇祭に招聘されたことは初めてのことで、「なんとしてでも行きたい!」という想いが先にありました。

フェスティバル初日を飾ったデフパペットの上演会場には、大勢のお客さんで溢れていました。やはり気になるのは、お客さんの反応です。客席からこっそり観察してみると、びっくりするぐらいリラックスした格好でいたので、退屈しているのかと思いきや、笑う時には大きな声で笑い、なんとも素直な雰囲気で見ている姿に心がほっこり。そして、公演後にお客様が笑顔で会場を後にする姿を海外でも目にし、デフパペットの活動が国を越えて一人一人の心に届いたことが実感できました。

最後に私事で恐縮ですが、この韓国公演を最後にデフパペットを卒業することになりました。デフパペットのお芝居は海外でも十二分に楽しんでもらえることを直に目の当りにできたことは、デフパペットで活動してきたという私の誇りがより一層深まるものとなりました。地方に行くことのなかった私ですが、このニュースを通じ全国の皆様と繋がることができて大変嬉しく思います。これからもうぞデフパペットをよろしく願います。

アンニョンハセヨ。ハングツ(韓国は)、シウォネ～(涼しいね)!

by 榎本オオル

韓国・水原(スウォン)には世界文化遺産に登録された、科学的な設計を誇る城郭の花、華城(ファソン)がある。美味しい骨付きカルビ焼きの発祥地でもある。皆さん知ってた?

デフパペはこの夏、ハンマダン2010水原華城国際演劇祭に「はこ/BOXESじいちゃんのオルゴール♪」で招待された。

8月14日、水原青少年文化センターにて2ステージの上演。音声のセリフ無し、少々日本手話があるのみ。テレビのシーンは韓国語のアナウンスと字幕に変えた。

「はこ」で表現された「文明と人間」というテーマ、三世にわたる家族の絆は、日本も韓国も共通で、楽しんでもらった。

韓国の子どもたちは、自分の膝を叩いたり、オーバーに身体を動かしながら笑っていた。ロビーでは、子どもたち、中学生が「ありがとう」と日本語で…。時には手話で…「楽しかった」

なんで?子どもたちが手話で話せた?それは、芝居を観て覚えたそう。感激!!!

翌日のワークショップでは、「私」「あなた」といった指差しの仕草を、韓国では普通は平手ですという、文化習慣の違いが印象的だった。子どもたちは指差しに戸惑いながら、これは日本の文化なんだと感じてくれた。

通訳のボランティアの大学生は日本語が丁寧で、手話にも興味を持ってすぐ覚えて手話で会話してくれた。

演劇祭は市民がつくって楽しむ「演劇・市民楽楽」というスローガン、演劇の感動を共に味わうお祭りは、出演者とみんなと共に泣いて笑って盛り上がった。水原の演劇祭は魅力的だった。今回の演劇祭で、韓国の若い人たちとつながり、交流の架け橋をつくれた。公演は盛況に終わり、帰ったら…イルボン(日本)は、超暑かった!またベチュギムチ ジュセヨ(白菜キムチを食べたい!)ですね。

おめでとう!おめでとう!

デフ・パペットシアター・ひとみ元代表の庄崎隆志さん(現在お名「風の器」主宰)が、9月15日「横浜文化賞・文化芸術奨励賞」を受賞されました。この賞は、横浜市より文化やスポーツなどの分野で活躍された横浜ゆかりの方々へ贈られるものです。贈呈式は10月27日(中区)で行われます。元デフ・パペメンバの活躍は、私たちにとっても大変嬉しい限りです。本当におめでとうございます。これからもますます活躍されるのを、メンバー一同楽しみにしています!